

4年前、神戸の公園で発見

ぼくの“宝物”は青銅鏡だった

小学生の宝物は国重要文化財だった。4年前、神戸市灘区の公園で、地元小学男児が拾った破片が、国指定重要文化財である約2千年前の青銅鏡の一部と判明し、8日、同市教育委員会が発表した。この公園内には国指定史跡「西求女塚古墳」(灘区都通3)があり、出土した12面の青銅鏡などが国重要文化財に指定。このうち3面は割れており、男児が拾った破片

の写真と似ていたことから学校に持参し、校長が市教委文化財課にも「ブニー」ツクス線分析などにより、1986年に同古墳から破片1片が出土した「1号鏡」と同一個体だと分かった。「宝物」を市に寄付した佐野君は「みんなに見てもらえてうれしい」と笑顔。



(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

学びポイント!

「青銅鏡」って、どんなもの? 調べてみよう。

NIEワークシート / 小学校 / 社会、国語、朝NIE

名前 ()

① 記事を読み、次の () 内を埋めましょう。

神戸市の佐野翔梧君は () 年、 () で () を見つけ、 () として大事にしていた。それが、 () と分かり、市に寄贈した。

② 次の場面で、佐野君はどんな気持ちだったでしょう。想像して書きましょう。

- ・破片を見つけた時
- ・青銅鏡に似ていると気づいた瞬間
- ・神戸市に寄贈し記者会見した時

() () ()

() () ()